

# シリーズ 人権 (52)



## 一人親である子どもの思い

私には、小学1年生の子どもが1人います。数年前に妻が病死したため、下校後は放課後児童クラブでお世話になって、私が残業するときには、クラブからの帰宅後、私の両親に見てもらっています。

先日、小学校の授業参観で、同じクラスの子どもたちから「〇〇さんのお母さんはおらの」「〇〇さんのお母さんは死んだん」などと尋ねられました。

その子どもたちは、素直な思いから、お母さんはどうしたのかなと尋ねているのだろうと思い、「病気で亡くなったんだよ。君は、お母さんを大切にしてくださいな」と答えました。

しかし、後々考えてみると、あのとき私が母親のことを尋ねられたということは、わが子は今まで母親がいないことを友達に話す機会がなかったのか、もしかしたら話せなかったのか、そして、私が正直に答えたことは本当に良かったのか、と不安になりました。

また、わが子は母親がいないことで、どのような思いをしているのか、しっかりと考えたことも、話したこともない自分に気付きました。

この出来事からしばらくしたある日、い

つものように、私は放課後児童クラブに迎えに行きました。その帰り道、「2年生になったら、友達と一緒に歩いて帰るか」と聞くと、「いやや、迎えがええ」と答えました。その理由を聞くと、「迎えに来てくれやんだら、お父さんに会えへん。話ができやんもん」という言葉が返ってきました。平日は仕事が忙しく、話ができるのは登校前と放課後児童クラブの迎えの時間くらいしかありません。

この言葉から、放課後児童クラブから自宅までの帰路の時間は、わずかですが、父親である私と話ができる大切な時間だったこと、さらに、こんな父親でもわが子にとっては、会いたい、話したい存在なんだと分かり、たまらなく嬉しくなりました。そして今、私がわが子にしてあげられることは、もっともっと一緒にいる時間をつくって、たくさん話することだと気付きました。

わが子が母親について尋ねてきた時には、二人で母親を思い出し、母親が子どもの誕生を喜び、そして幸せを願っていたことを伝えたいと思います。わが子がそのことを受け止めて前へ進めるよう、一緒に話ができたらいいなと思います。

## 平成24年度 津市自治会長表彰

自治会長を10年間務められた皆さんを表彰します。(50音順、敬称略)



問い合わせ 対話連携推進室  
☎229-3110 FAX229-3366

自治会名	自治会長名	自治会名	自治会長名
稲垣区	家垣 育夫	港海岸	爪田二三夫
上小戸木	稲垣 博司	中新町南	別所 莞至
前原下	上川 博美	西高洲町	松下 健治
西新町北	小野 允也	南堀端・五軒町	三宅 忠勝
ポルタひさいマンション	川原田義之	一身田豊野団地第5	森 錦一
八町三丁目北	近藤 茂	西鷹跡町北	山本 昭人